

高齢者インフルエンザ及び 新型コロナウイルス感染症予防接種説明書

【接種期間】 令和7年10月1日から令和8年2月28日まで

【対象者】 65歳以上の三島市民(接種日時点において)

※ 60歳以上65歳未満の慢性高度心・肺・腎機能不全者等(具体的には、身体障害者(内部障害)手帳1級保持者程度、または医師の診断書がある方)も対象となります。

※ 転出日以降は、三島市の予診票は使用できません。転出先の自治体へお問合せください。

令和7年度に 65 歳になる方で誕生日前に接種する場合、全額自己負担となります。

【自己負担額】 インフルエンザ予防接種 : 1,400円

新型コロナウイルス感染症予防接種 : 8,000円

※生活保護受給者は無料

※新型コロナウイルス感染症予防接種については、令和7年度から国の補助がなくなったため、自己負担金が昨年度より増額となりました。

【接種回数】 各1回

予防接種の受け方

- ① この説明書をよく読み、有効性や副反応についてよく確認したうえで、同封の予診票にボールペン等で記入してください
 - ・接種を受けるご本人が責任をもって記入してください。
 - ・ご自身で記入できない場合は、健康状態をよく知っている方が記入してください。
- ② 「実施医療機関一覧」に記載されている医療機関に下記の物を持参の上、接種を受けてください。※市内と市外の一覧があります。予約が必要な医療機関がありますので、事前にご確認ください。
 - 保険証
 - 予診票・接種済証
 - 自己負担金(生活保護受給者の方は「生活保護休日・夜間等受診証」など)
- ③ 接種後、医療機関から「接種済証」を受け取り、大切に保管してください。

「接種済証」は高齢者インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防接種共通の用紙になります。

予防接種は本人の意思により実施します。接種を強制するものではありません。

接種間隔及び同時接種について

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症予防接種は、医師が必要と認めた場合に同時接種ができます。同時接種については医師へご相談ください。別々で接種した場合、他の予防接種との接種間隔に制限はありません。

予防接種を受ける前に...

予防接種を受けることができない方

- ＊ 明らかに発熱のある方、一般的に体温が37.5度を超える場合
- ＊ 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ＊ インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防接種の成分でアナフィラキシー（強いアレルギー反応）を起こしたことがある方
- ＊ 上記の他、医師が不適当な状態と判断した場合

予防接種を受けるに際し、担当医とよく相談しなくてはならない方

- ＊ 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液その他慢性の病気で治療を受けている方
- ＊ 過去に予防接種を受けたとき、アレルギーと思われる異常があった方
- ＊ 今までにけいれんを起こしたことがある方
- ＊ 今までに中耳炎や肺炎などによくかかり、免疫状態を検査して異常を指摘されたことがある方
- ＊ インフルエンザ予防接種については、鶏卵・鶏肉・その他の鶏由来のものに対してアレルギーがあるといわれたことがある方

予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ＊ 予防接種を受けた後の30分間は、急な副反応が起こることがありますので、医師とすぐに連絡をとれるようにしてください。
- ＊ 副反応の多くは24時間以内に出現しますので、特にこの間は体調に注意してください。
- ＊ 入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすらないでください。
- ＊ 接種当日は、激しい運動や大量の飲酒は避けてください。

問い合わせ 健康づくり課 055-973-3700

インフルエンザ

インフルエンザ予防接種の有効性

インフルエンザ予防接種の有効性は、世界的にも認められており、我が国においても高齢者の発病防止や、特に重症化や死亡の予防に有効なことが確認されています。
一般的に65歳以上の方は、1シーズンに1回で効果があるといわれています。

インフルエンザ予防接種の副反応

予防接種の注射の痕が赤みを帯びる、腫れる、痛むなどや、発熱、悪寒、頭痛、全身のだるさなどがみられることがあります。通常2～3日のうちに治ります。
接種後数日間、ワクチンに対するアレルギー反応として、発疹、じんましん、湿疹などがみられることがあります。また、ごく稀に、ショックや呼吸困難などが現れることもあります。

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症予防接種の有効性

新型コロナウイルス感染症予防接種は、発症予防や重症化予防に効果があることが確認され、特に65歳以上の方の重症化予防に有効とされています。
初回・追加の区分を設けず、原則として1回接種を行います。

新型コロナウイルス感染症予防接種の副反応

接種後に接種部位の痛みや倦怠感、発熱、頭痛、関節や筋肉の痛み等が、軽度から中等度見られますが、数日で回復します。ごく稀に重大な副反応としてショックやアナフィラキシーがあります。また、ごく稀ではあるものの、心筋炎や心膜炎、ギランバレー症候群が報告されています。接種後、気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。

予防接種健康被害救済制度

ワクチン接種後、まれに健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。国に健康被害と認定された場合、予防接種法に基づく救済(医療費・障害年金等の給付)を受けることができます。

＜お問い合わせ＞ 三島市健康づくり課

電話 055-973-3700(午前8時30分～午後5時15分・平日のみ)